



# 船を造り続け100年以上! 私たちの大型漁船で食卓に美味しい魚を届けています。



## 常石三保造船株式会社

所在地/静岡県清水区三保3797番地 TEL.054-334-5211 <https://www.tsuneishi.co.jp/miho>  
創業/1919年(大正8年)5月 従業員数/327名(2025年11月現在)

出張授業可能です 職場見学可能です

### 私たちの仕事

遠洋で魚をとる大型漁船をはじめ、密漁を防止する漁業取締船、水産学校で使う実習船など、さまざまな船を造っています。まぐろやかつおの大型漁船を日本で多く建造しており、みなさんの食生活を支えています。建造する船は1隻1隻オーダーメイドで設計をし、職人が心を込めて造りあげてきました。また、船ができあがった後も検査やメンテナンス、修理を行い、安全に航海ができるようにしています。



▲本社外観

### ? どんな船を造っているの?

遠洋でまぐろやかつお・たら・いかななどをとりに行く大型漁船を造っています。これまでに約2,890隻の船を造ってきました。一番大きな「海外まきあみ漁船」は、全長約80mです。



### 海でとった魚はどうなるの?

とった魚は船の中ですぐに冷凍し、日本に持っていきます。港で卸された魚は、回転寿司やスーパーのお刺身、かつお節や缶詰などの加工品になり、みなさんの元へ届けられています。



### 船造りをくわしく見てみよう!



#### 1 設計



船の設計図を描きます。

#### 2 切断・加工



船の材料である鋼板を一枚ずつ切って曲げる加工をします。

#### 3 ブロック製作



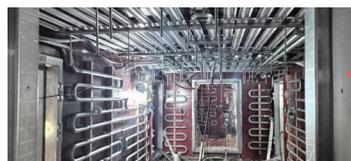
加工した板同士を溶接して、大きなブロックを製作します。

#### 6 完成・引き渡し



設計から約1年半をかけて、船ができあがりました。

#### 5 艦装工事



へやの中や電気・配管の取り付けなど、船の内側の工事をします。

#### 4 ブロック取り付け



ブロック同士を溶接すると、船の外側ができあがります。

### ほかにこんな取り組みもしているよ!

#### 静岡Greenでんきを導入



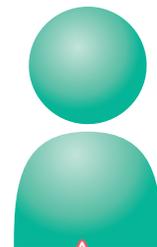
水力発電のみで作られた電気を導入し、CO2排出量削減に貢献しています。

#### 工場見学の実施

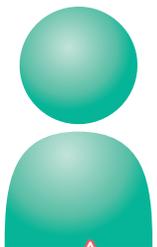
学生や一般の人を対象に、工場見学を随時行っています。造船現場を間近で見学し、モノづくりの楽しさに触れてもらっています。



### はたらく人の声



設計部 機電設計課  
Mさん



工作部 艦装課 機電職  
Tさん

お客様の要望に合わせて船の設計図を描き、部品を選びながら完成までいねいに形にします。ルールを守り、試運転まで約1年かけて理想の船をつくりあげています。お客様の要望通りの船をつくられたときにやりがいを感じます。

船の心臓部であるエンジンルームをメインに、そのほか電機・ポンプなどの機器を正確に取り付けています。目には見えない100分の1ミリ単位で位置を合わせる繊細な作業なので、完成した瞬間の達成感は格別です。